

協働提案事業の評価について

NPO等活動推進協議会の評価結果は以下のとおりです。

平成28年度 協働提案実施予定事業（27年度新規提案）

事業名	すぎなみレッドリボンプロジェクト	
実施主体	提案団体名	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター
	担当課	保健福祉部 保健予防課 感染症係
事業目的	NPO法人ピルコン(所在地:日野市)と協働し、HIV感染症等情報を講演会、勉強会、イベント等を通じて、若年層、学校関係者等に周知・啓発する。	
総合評価	B3	

【付帯意見】

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「すぎなみレッドリボンプロジェクト」にかかる「特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター」および「杉並区保健福祉部保健予防課感染症係」の協働提案実施事業について、「期待できる」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、患者報告数の傾向からも若年世代への対策が求められており、適切に課題やニーズが把握されている、区民全体としてもその解決が必要であると高い公益性が認められ、事業の必要性を評価した。

目標設定については、HIV感染症等に関する正確な情報に基づく啓発事業等の開催等が感染拡大防止につながるとのビジョンに基づき、目標設定があると評価した。ただし、3カ年での解決へのビジョンは明確。目標値の設定はもう少し具体的に欲しいとの意見や、啓発活動では目標設定、評価の指標が難しいのでアウトプットだけでなくアウトカムがわかるようにしてもらいたいとの意見があった。

協働の効果については、区のみでは限界が生じている点を十分補完できるものと考えられる。教育現場での啓発活動はNPO単体ではハードルが高く困難であり、協働は極めて有効と考える。すなわち、提案団体にとっては協働の効果で教育関係者への啓発、学校での若年層への啓発が容易になり、区においては団体が有するノウハウを生かせるなど、より効果的施策が可能となる。

地域資源の活用については、杉並区の学校施設などを利用して人的資源である保健教育関係者に講演し、自ら若年世代に啓発事業を実施し、若年世代を育成することは効果的である。

区民満足度については、感染症に対する知識・対策等を啓発し、感染者数、患者数の増加が止まる、または減少することで満足度が高まると思われる。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、提案団体は既に区からの委託でAIDS即日検査と事前・事後のカウンセリング事業を実施している団体である。ただし、他の協力団体もあるのでうまく役割分担できるかが重要であり、ピルコンとの協働により若年世代への新しいアプローチ方法を可能としている。

計画性については、1年目は「保健教育に関わる方に向けた啓発・周知」からスタートするなど、事業計画・スケジュール等が実現可能なものが示されている。ただし、イベント、講演会など多様なプログラムではあるが、実施時期が不明確な部分もあるとの指摘も出された。

経済性については、明確かつ適切になっている。今後の課題としては事業経費について、区からの持ち出しが60%を超えていることから、継続するためには段階的に区からの支出分を減少できる体制を築くことが望ましい。

創造性・新規性については、明確なビジョンに立って課題を解決するとの決意があり、ピアエデュケーションの可能性と、ピアリーダーの育成に期待感がある。もっとも、これは新規性といえるほどではないとの意見もあった。

継続性については、感染症予防という課題に保健教育関係者等に波及効果が出て継続してできると評価できる。さらに、啓発活動を受けた若年世代から新たな協働提案が立ち上がることによる発展を想定している点が新しく期待できる。それを支えるのは、区内の大学との連携が重要である。

最後に、評価項目以外の意見を注記したい。

子供達を守ることは正しい知識を持たせることではあるが、HIV等感染症についてはデリケートな問題であり、ノウハウのある提案団体との協働により丁寧かつ大切に普及啓発が必要である。その意味で、効果測定指標については検査の受診者数以外にも検討していただきたい。

また、啓発には性感染症の予防だけでなく、望まれない妊娠・中絶の予防も含まれると想像するが、根っこは同じところなのでそれも盛り込んでほしい。

さらに、リボン運動にはピンク、オレンジ、グリーンなどさまざまなものがあるが、その認知度には差があり、他の運動との違いを見せる工夫が必要である。

※評価項目及び総合評価基準は裏面「協働提案評価集計表」のとおり

平成28年度協働提案実施予定事業

事業名	すぎなみレッドリボンプロジェクト
-----	------------------

提案団体名	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター
-------	-------------------------

担当課	保健福祉部 保健予防課 感染症係
-----	------------------

No.	評価項目	評価のポイント	評価
1	課題・ニーズ把握	地域の課題・区民の要望を的確に捉え、課題の解決によって公共的利益が得られるか。	B3
2	目標設定	課題解決のビジョン、具体的な目標設定があるか。	B3
3	協働の効果	区や団体の単独実施よりも、協働で事業等を実施することで、より質の高いサービスが提供できるなど、より効果が得られるか。	B2
4	地域資源の活用	地域資源(自然環境、産物、施設、文化、歴史等)を有効に活用しているか、また、地域の人材を活用しているか。	B3
5	区民満足度	協働で事業が行われることが区民の理解を得られ、また、事業の実施により区民の満足度が向上するか。	B3
6	団体の事業実現力	提案団体は、事業を実施するための必要な知識・経験・実績・特性(強み)を有しているか。	B2
7	団体の事業組織力	提案団体は、事業を実施するための実施体制(人員配置、財務状況、他団体との協力ネットワーク等)を有しているか。	B3
8	計画性	事業計画・スケジュール・実施場所等が実行可能なものとなっているか。	B3
9	経済性	事業経費の規模、資金計画、経費分担、経費内訳、算出根拠等が明確かつ適切か。	C1
10	創造性・新規性	新しい発想、アイデアがあり、課題解決に向け積極的なチャレンジ姿勢を持つなど、将来への期待感があるか。	B2
11	継続性・波及性	一時的な事業で終わるのではなく、将来的に発展・継続する可能性があり、地域への波及効果が期待できるか。	B3
総合評価 (評価員6名の平均)			B3

※委員評価点

A…特に期待できる(5点) B…期待できる(4点) C…標準的である(3点)

D…あまり期待できない(2点) E…期待できない(1点)

※総合評価基準

A	B1	B2	B3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	E
特に期待できる	←期待できる→			←標準的である→			←あまり期待できない→			期待できない
5~	4.44	4.14	3.74	3.44	3.14	2.74	2.44	2.14	1.74	1.44
	4.45	~4.15	~3.75	~3.45	~3.15	~2.75	~2.45	~2.15	~1.75	~1.45